

リフォーム需要拡大に備えた施工力増強のため
「大阪トレーニングベース」新設
横浜に続く2拠点目として6月5日（月）研修開始

システムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器メーカー・タカラスタンダード株式会社（本社：大阪市城東区、代表取締役社長：渡辺岳夫）は、今後さらに拡大が見込まれるリフォーム需要に対応するための施工力増強・確保に向けて、大阪府東大阪市にエンジニア育成拠点として「大阪トレーニングベース」を新設し、全17コースにおよぶ研修を2023年6月5日（月）から開始します。なお、同施設は「横浜トレーニングベース」に続き2拠点目となります。



タカラスタンダード独自の「高品位ホーロー」は、清潔で頑丈なため水回りには最適な素材ですが、キッチンや浴室のホーロー壁パネルは現場でサイズに合わせた加工などを行うため、当社製品に対する特有の知識・技術が必要とされます。そのため、商品の設置は当社が独自に認定した施工士によって行われています。お客さまにより安心・安全な商品をお届けするために長年続いている制度です。

当社では認定工事店施工士を、プロ意識の高い技術者と位置づけ「エンジニア」と呼んでいます。今後さらに拡大が見込まれるリフォーム需要への対応に必要な施工力増強を促進するため、2022年4月に専用の研修施設「横浜トレーニングベース」を開設。短期集中で商品設置について基礎からしっかりと学んでいただける研修コースの運用を開始し、1年で約120名の方に受講していただきました。

そしてこの度「大阪トレーニングベース」を開設し、東日本と西日本の2拠点での運用を開始することで、より多くの受講者を受け入れ可能な体制を整備します。

「大阪トレーニングベース」では、「横浜トレーニングベース」と同様に、設置研修14コース、下見管理研修3コースの全17コースを設定。初めて商品に触れる方向けの基礎的な内容からよりスキルアップを図っていただける内容まで、それぞれのレベルや需要に合わせたコースを選択の上2日間から5日間のカリキュラムで時間をかけてじっくり学んでいただけます。

設置研修コースは、定員人数をできる限り絞ることで受講者の方全員に全工程を体験していただけるようになっており、システムバス・システムキッチン・ホーローパネルの組み立てを現場で行う加工を含めて一から実体験できる研修です。下見管理研修コースは、商品の納まりや現場打ち合わせ知識などを学ぶことができる内容になっています。図面の見方や現場でのルールやマナーなどの基礎知識に加えて、実際に下見採寸の実習などを学んでいただけます。



(横浜での研修の様子)

「大阪トレーニングベース」には、横浜にはないマンションリフォーム研修コーナーも備えており、都市部で増えているマンションリフォーム現場特有の納まりを、実際のシステムキッチンや配管部材を使用して展示しております。

タカラスタダードはこれからもさまざまな取り組みを通して、顧客満足度の高いリフォームの実現に向け努めてまいります。

【ご参考】

■研修概要

コース：全17コース

設置研修14コース（システムバス8、システムキッチン4、ホーローパネル2）

下見管理研修3コース

研修日数：2～5日間

講習時間：〔1日目〕9:15～17:30〔2日目以降〕9:00～17:30

※選択コースにより終了時間が異なるため、目安

費用：施工研修コース¥13,200～¥49,500

下見管理研修コース¥11,000～¥19,800

スケジュール：各コースを定期的に開催。詳細は当社担当者にご確認ください。

■「大阪トレーニングベース」概要

所在地：大阪府東大阪市長田東2丁目4番33号 タカラスタダード大阪支社2階

延べ床面積：約161㎡

<タカラスタダードとは>

1912年創業。『ずっと「愛せる」というしあわせ。』をブランドコンセプトに、独自の「高品位ホーロー」技術を活かしたシステムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器を製造販売。より高度化、多様化、複合化するお客さまのニーズにお応えするホーロー技術のリーディングカンパニーとして、また住宅設備機器のトップメーカーとして、次世代を担う新たなホーローの可能性を追求し、快適な暮らしの創造を目指しています。[設立：1912年5月30日（創業111年） / 売上高<連結>：2,274億円（2022年度） / 従業員数<連結>：6,445名（2023年3月末時点）]